

春のくらし

①「みどり」という詩を音読しましょう。一回目はていねいに、二回目はすらすらと、三回目は一

つ一つの言葉をはっきりと、四回目はどんな様子か考えながら読んでみましょう。

②「みどり」を読んで、かんじたことや考えたことを書きましょう。

(答えの例)・「みどり」がたくさん出てきた。
・最後に「り」がつくことばがたくさんあった。
・読んでいてリズムがよかった。・春の山のようにすが思いうかんだ。

③「春になると、これ食べるなあ。」「春になったなあ。」と思う「春をかんじる言葉」を書きまし

よう。教科書

に書いてある春の言葉もさんこうにして、たくさん書いてみましょう。

(答えの例)・新玉ねぎ・新じゃが・春キャベツ・菜の花・たけのこ・ふき・わらび
・ぜんまい・たらのめ・よもぎ・アスパラガス・そらまめ・新茶など・・・
・さくら・菜の花・サクラソウ・ヒヤシンスなどなど・・・
・ツバメ・こいのぼり・お花見・田植えなどなど・・・

④「春らしいなあ。」「春になったなあ。」とかんじることをさがして、みじかい文しように書きま
しょう。教科書

〈教科書のれい文〉 ※わからない言葉は、国語辞典でしらべてみよう！

(出来ごと)・・・ (ようす)・・・ (かんそう)・・・	☒土曜日に、家でさくらゆをのみました。 おゆの中にさくらの花がさいたみたいでした。 ほんのりいいにおいがして、春だなあと思 いました。
------------------------------------	--

(出来ごと)・・・ (ようす)・・・ (かんそう)・・・	☒4月に家族でお花見をしました。 川の土手に、菜の花とさくらがさいていま した。黄色とピンク色がとてもきれいで、お花 のじゅうたんみたいでした。
------------------------------------	---